【参考】防災情報システムの現状（FM防災情報システムの位置付け）

■ 第1回V-Low帯域の防災利用に関するWGにおいて、事務局からFM防災情報システム等の適用範囲と既存の防災情報システムの概要について説明し、FM防災情報システムの適用範囲（FM防災情報システムの位置付け）を確認

【FM防災情報システムの適用範囲（抜粋）　・・・災害発生からの時間経過とともに必要とする情報の変化と入手手段】

● 朱書部分がFM防災情報システムの主な適用範囲（自治体から住民に提供する情報で、防災行政無線による情報伝達に課題のある範囲）

（緑枠の凡例）自治体から住民への情報の伝達手段として、◎：有効、○：場合により有効、△：あまり有効でない、×：使用不可

			発災前・発災時		発災後（～1ヶ月）		復旧期（1ヶ月～）	復興期（数ヶ月～）
青書：主に自治体から住民に提供する情報			・警報・注意報（緊急地震速報、津波、高潮、大雨、洪水、土砂災害等） ・被害予測（地震規模、津波到達予定時刻・高さ、潮位変化、雨量、河川の氾濫等） ・避難指示、道路交通情報		・被害状況、二次被害注意情報			・復興計画（災害公営住宅・災害危険区域の指定・土地区画整備等）
					・安否情報、避難所開設情報、道路交通情報（通行止、啓開等） ・医療・福祉・介護情報（診療所開設・投薬、福祉避難所） ・生活支援情報（給水・食糧配給・救援物資・ゴミ収集） ・行政支援（罹災証明、支援金、応急仮設住宅等） ・災害ボランティアの派遣情報、ライフライン（電気・ガス・水道・通信）			
			・公共交通機関の運行状況					
							・就労・学校・店舗等の再開	
住民等の情報入手手段に係る課題	屋外	防災行政無線	○	・災害発生の認知、避難行動の喚起等のための情報であり、情報伝達方法を多層化し、いずれかの方法で情報が入手できれば問題はないが、自治体からのきめ細かな情報に関しては、防災行政無線の屋外拡声子局が雨天時や屋内で聞き取りにくい等の課題がある。 ・屋内については防災行政無線の戸別受信機が配備されていない場合は自治体からの情報入手が困難。	○	・防災行政無線の屋外拡声子局が雨天時や屋内で聞き取りにくい等の課題がある。特に屋内については防災行政無線の戸別受信機が配備されていない場合は情報入手が困難。 ・避難場所や住民の生活環境等に応じて、防災行政無線や臨時災害放送局を設置している場合は、きめ細かな情報の提供が可能。 ・テレビ、ラジオは放送事業者の番組編成に依存するため、被災者に向けて提供できる情報の範囲がある程度限定（コミュニティ放送のエリアとなっている場合は、協定等の締結により柔軟な運用が可能。）。 ・携帯電話等は防災アプリやHP等を通じて住民が求める情報をきめ細かに提供できる可能性はあるが、自治体職員の負担も大きく災害対応を行っている中でどこまで対応できるかが課題。		・復興期の情報は情報量も多く、広報誌やHP等での情報提供が適している。 ・災害危険区域（住家の建築等が制限）の指定や土地区画整備（高台移転等）は住民との個別の調整が行われるため、今回の検討対象から除外して特に問題はないと考えられる。
		ラジオ	○		○			
		携帯電話等	○		○			
		臨時災害放送局	×		◎			
	屋内	防災行政無線	△		△			
		テレビ・ラジオ	○		○			
		携帯電話等	○		○			
		臨時災害放送局	×		◎			
	車内	防災行政無線	△	・災害発生の認知、避難行動の喚起等のための情報については特に問題はないもの、車両で被災した場合は避難経路の渋滞、路面の破損、通行止等の情報を、防災行政無線の屋外拡声子局では聞き取りにくい状況。	△	・防災行政無線の屋外拡声子局が聞き取りにくい。 ・臨時災害放送局が開設される場合は自治体からのきめ細かな情報提供が可能であるが、設備の調達や人員配置（第2級陸上無線技術士以上の無線従事者）などが必要となる。 ・テレビ・ラジオ、携帯電話等については、屋外、屋内の場合と同様であり、自治体や道路管理者から等のきめ細かな情報の提供方法が課題。		
		テレビ・ラジオ	○		△			
		携帯電話等	○		△			
		臨時災害放送局	×		○			
	避難所	防災行政無線	◎	・避難所開設後は、自治体から住民等への情報伝達には、特に問題はないと考えられる。 ・特に、防災行政無線の戸別受信機が配備されている場合は有効。	◎	・屋内の場合と同様、防災行政無線の屋外拡声子局が聞き取りにくい。 ・自治体職員等がいれば張り紙やアナウンス等でも情報提供が可能（生活支援に関する情報等をきめ細かに提供することが可能。）。		
		テレビ・ラジオ	○		○			
		携帯電話等	○		○			
		臨時災害放送局	×		◎			
		サイネージ	◎		◎			
		職員等	◎		◎			

※ 第1回V-Low帯域の防災利用に関するWG資料（資料1-4-2）抜粋